

平成28年度医歯学祭を終えて

歯学部歯学科3年 松田 きよら

10月29日、30日に行われた、第6回になります今年度の医歯学祭は、皆様のおかげで無事に開催でき、成功裡に終えることができました。お忙しい中、大変多くの方にご来場いただきまして、誠にありがとうございました。

今年度は「～LINE～人とのつながり～」をテーマに掲げました。これには、学生と学生、学生と大学、大学と地域など、大学を拠点として様々な繋がりをもって相互に理解を深め合い、協力していく広がりを作りたい、という願いを込めました。その願いどおり、当日は医学生、歯学生が結束を深めるだけでなく、多くの方との交流も行えたと実感しております。

医歯学祭は、資金集め、企画立案、運営まで全て学生たちの手によるものです。そのため、様々な医療分野の企画もあれば、ユニークで学生らしさのある企画もあり、充実した内容になったものと思います。例えば、今年は田村浩一先生による特別講演会がありました。田村先生は、民放で放送されて話題になった人気ドラマ、「フラジャイル」の監修をされた先生です。「病理医とは、病理学診断とは」をテーマに講演していただきました。一般の方にはまだまだなじみがない分野ですが、学生だけではなく地域の方々に向けた、わかりやすく興味深い内容でした。そのほか、部活動の展示など、普段の学生生活を垣間見るような企画が多く行われ、大盛況に終えることができました。

歯学部では、無料歯科相談、歯学部の各部活による模擬店も出店されました。無料歯科相談では、研修医の先生や医局の先生方のご協力のもと行いましたが、この企画は他の企画と同様に体育館で行ったため、相乗効果で例年以上のお客様に

お越しいただくことができました。来てくださった方には歯ブラシや歯磨き粉等の歯科用品のプレゼントを行い、とても好評でした。お越しになった多くのお客様の悩みを解決し、歯科疾患の予防に対する意識向上、定期検診の重要性を理解して頂けたと思います。このように、多種多様なイベントを用意したことで、ご参加くださいました皆様に、1つでも多くの楽しい思い出をつくっていただけたかと思います。私たち医歯学祭実行委員は、各学部学科に所属し、勉学に励む学生です。このような貴重な経験を活かし、地域貢献、社会貢献できるような医療従事者となれるよう、今後も勉学に励みたいと思います。

最後になりましたが、医歯学祭を応援してくださった地域の皆様、大学関係者の皆様、支えてくれた仲間たち、そして医歯学祭の開催にご協力いただきました全ての皆様に、厚く御礼申し上げます。未熟な点多々ありましたが、温かいご声援をありがとうございました。また、今年の医歯学祭にご来場くださいました皆様、そして共に創り上げた仲間たちにとっても、かけがえのない思い出になりましたら、幸いです。



筆者は下段の右から3番目